

平成27年6月22日

桑折町議会  
議長 半 澤 高 様

産業建設水道常任委員会  
委員長 平 井 國 雄

### 委員会調査報告書

本委員会に付託された調査事件について、調査報告を下記のとおり、会議規則第77条の規定により報告します。

#### 記

#### 1 調査事件

6次産業化の調査研究について

#### 2 調査目的

地域産業の活性化のため

#### 3 調査の経過

□平成25年11月19日

町議会議員先進地視察研修として、広島県世羅町における世羅高原6次産業ネットワーク活動等について研修した。

□平成25年12月10日

今後の進め方について、協議・検討を行った。

□平成26年6月17日

今後の進め方について、協議・検討を行った。

□平成27年3月3日

今後の進め方について、協議・検討を行った。

□平成27年3月30日

福島市にある菱沼農園を視察し、個人農家として取り組む6次産業化について説明を受けた。また、「6次産業化の極意」と題した福島県認定農業者会主催の経営改善交流セミナーに参加し、6次産業化への取り組みに必要なこと等についての講演を受講するとともに、福島県内で実際に6次産業化に取り組んでいる企業等の事例発表を聞いた。

□平成27年5月21日

産業振興課長の出席を求め、本町の今後の取り組み方針について説明を受け質疑応答を行った。

□平成27年5月28日

調査の経過と結果の整理を行い報告書を作成した。

#### 4 調査結果

本町の基幹産業である農業は、従事者の高齢化、担い手の不足、耕作放棄地が増えているなどの現状にある。このような中、本町の農業をどのようにしたら良いか、身近な問題点として考えていかなければならない。

このような観点から、本委員会は、本件調査事件について、平成25年11月19日より平成27年5月28日まで調査研究を重ね実施してきた。

6次産業化とは、農林漁業を1次産業としてだけでなく、加工などの2次産業、さらにはサービスや小売などの3次産業までを含め、1次から3次まで一体化した産業として農林漁業の可能性を広げようとするものである。

また、農林漁業者が主体となって、農山漁村に由来する農林水産物やバイオマスといった農山漁村の豊かな「地域資源」を活用し、新たな地域ビジネスの展開や新たな業態の創出に取り組むことで、付加価値のより多くの部分を農山漁村地域に帰属させ、地域内における所得と雇用を確保することとなる。

実際に取り組んでいる近隣の農家を視察した結果、次のような実態が伺われた。

- ・一般農家の6次産業化の取り組みは、規格外農作物を加工し付加価値を付けることにより商品としての価値を見出し収入増につなげる。
- ・販売先、ネーミング、包装、価格などの検討が重要であり、専門分野の知識なども参考にする。
- ・販売方法にあっては、農家個人が自己責任、自己完結で行うのが基本である。

以上のようなことから、6次産業化への取り組みは、安定的な農業経営が継続される一助となる。基本的な生産物出荷の中から発生した副産物の高度な処理（加工）により6次産業化へ取り組むべきと考えられる。

本委員会は行政に対し、意欲的に取り組もうとしている農家事業者、及び新規就農者に対し各種支援制度の紹介や積極的なサポート等を行うことにより、本町の6次産業化の推進を図ることを望む。